

YOKOSUKA CITY.

完成、ベイスターズ練習場!変化する追浜のまちなみ

追浜は、横須賀市の中で北側に位置し、海・山・緑地の自然環境に恵まれたところです。駅前には商店街があり、昔からあるローカルなお店など昭和な風情を感じます。 また、横須賀スタジアムの隣に「DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA」が建設され、横須賀市の中でもスポーツを核としたまちづくりの地域となっています。 今回の景観ニュースでは、そんな追浜周辺の景観をテーマとして、取り上げます。

● 追浜駅と駅前商店街

追浜駅は、昭和5年に現在の横須賀市内に私営鉄道が敷かれて営業が開始されました。湘南電気鉄道株式会社で当時、市内には9つの駅が作られ、その中の一つが「追浜駅」です。その後、「湘南電車」として親しまれた鉄道の開通によって、それまで非常に不便だった京浜地方と三浦半島との交通が便利になり、郊外住宅地の開発や貨物輸送などに、飛躍的な発展を遂げることになりました。

当時の追浜駅の周辺は田んぼで、蓮の田も多くある静かでさびしいところだったそうです。駅名の「追浜」は村の東のはずれにあった浜の名でしたが、 ここに大正 5 年、海軍航空隊が置かれて一躍脚光をあびて有名となったため、駅名として取り入れられました。そして昭和 26 年の町界町名整理で追浜本町、追浜南町、追浜東町などの町名に生まれ変わることになりました。そして令和 2 年 3 月、京浜急行電鉄の創立 120 周年記念事業として行われる 4 駅の駅名変更に伴い、追浜駅については「横須賀スタジアム」の名前が副駅名として表記されることとなりました。



追浜の商店街は昭和 5 年に形成されました。戦後は一時さびれた時期もあったようですが、朝鮮戦争が勃発すると米軍特需会社の工場が設けられ、商店街も息を吹き返しました。その後、日産自動車追浜工場が動き出すと、駅前も再び再開発されました。現在も追浜銀座通り商店街など多くの店舗があり、学生や買い物客にも親しまれています。 (鈴木(鈴)委員)

● ベイスターズ練習場(DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA)

そんな追浜駅から商店街を抜けて徒歩約 15 分、横須賀スタジアムがある追浜公園内に、横浜 DeNA ベイスターズの選手寮、屋内練習場、屋外練習場が 2019 年 7 月に完成しました。施設は選手やコーチ陣の意見も多く取り入れられていると聞いています。構想から 4 年、完成までに携わった多くの方は、選手達が横須賀で大きく育ち、1 軍だけでなく世界へと通用する選手になって欲しいという夢と希望を抱いています。

屋内練習場は、外観はとてもカッコよくデザインされているだけでなく、採光や遮熱の面でも工夫がなされています。

グラウンドの形状は 1 軍のホームグラウンドの横浜スタジアムと同形状となっており、ピッチャーマウンドの高さや外野のフェンスの高さ、ファウルゾーンや外野の人工芝の長さにまでこだわっています。ここで練習し育った選手が、景色は違えども練習時と同じ環境で試合に専念できる環境づくりがされているところも、造る側と利用する側が一丸となっていることが伺えて感動します。



青レンガの色にもかなりこだわっています。色の統一は一体感やモチベーションアップにも繋がると言われており、まさにベイスターズカラーに包まれて生活を送りチームの為に汗を流すといった環境も素晴らしいと感じました。

市民やファンの方たちにとって嬉しいのは、遊歩道も整備されており、歩いてグラウンド横までいくと選手たちが練習している姿を近くで見学できるよう、ブルペン横にベンチも設置されています。

こうして全体を見ても、細部まで手を尽くされ、球団の為だけでなく、行政の為だけでもなく、市民 にもここち良い環境として整備されていることが感じられます。今後スポーツを通じたまちづくりの一 つとして、また横須賀の新たな景観の一つとして根付いていって欲しいと願います。





(中本委員)

● 海と地球の研究所 JAMSTEC

気候変動のニュースなどで目にすることも多い、「海洋 研究開発機構(JAMSTEC ジャムステック)」。なんとその 本部が横須賀市追浜の夏島町にあることを皆さんご存 知でしょうか?今回はその日本を代表する海と地球の研 究所をご紹介するべく月に1回開催されている予約制の 個人見学ツアーに参加しました。

見学会の内容は時期により異なるようで すが、今回は深海の水圧を実感できる高圧 実験や海底資源を調査する深海巡行探査 機「うらしま」を見学。実物大模型の有人潜 水調査船「しんかい 6500」の船内にも乗り 込むことができました。海と地球の神秘に迫 る最新の研究に触れ、アカデミックな気分 を味わえます。年に一度は一般公開日もあ りますので是非足を運んでみてください。

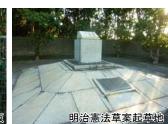




● 夏島遺跡

JAMSTEC の周辺を歩いてみ ました。夏島町はただの埋め立 て地ではありません。元々は横須 賀港に浮かぶ島であり周囲が埋 め立てられ陸続きになったのは 大正 17年のこと。





日本で最も古い縄文時代早期の貝塚とされる夏島貝塚や『明治憲法草案起草地』などの 史跡、戦時中の近代遺跡等がつまった歴史ある土地なのです。

ちなみに JAMSTEC に隣接する樹木の茂った小高 い丘が元祖夏島。元祖夏島を囲むように整備された 工業地帯を歩くと、単なる埋立地ではない夏島地区 の歴史と不思議な景観を実感できます。



(鈴木(奈)委員)

東京湾第三海堡遺構



東京湾第三海堡は、元々首都東京を防護するため東京湾口に設けられた砲台を設置するための人工島でした。明治 25 年の着 工以来、30年間に及ぶ難工事の末、大正 10年に竣工しましたが、わずか2年後の関東大震災によって多くが崩壊し、海中に没しま した。

関東大震災で大破した第三海堡は浦賀水道航路に接しているため、付近の水域では海難事故が多発するようになり、航路の安 全性を確保するため、撤去することになり、撤去工事は平成 12 年から平成 19 年に亘って実施されました。

当初、撤去構造物のうち、大兵舎と呼ばれる構造物はうみかぜ公園に移設され、探照灯、砲台砲側庫、地下通路、観測所と呼ばれ る4つの構造物が追浜展示施設(民有地)に保存・展示されていました。その後、展示施設の維持が難しくなったということで、夏 島都市緑地内に移設され、保存・公開されることとなりました。

夏島都市緑地の周辺には、貝山緑地、貝山地下壕、夏島貝塚、明治憲法起草の地の碑などの歴史遺産、産業施設やアイクル、海洋 研究開発機構等が存在することから、第三海堡構造物もこうした地域資産と連携し、活用をはかることが求められています。

第三海堡遺構は横須賀市の日本遺産構成文化財となっており、平成30年3月に神奈川県指定重要文化財に指定されました。ま た、よこすか都市景観協議会が平成30年度に行った第2回すかまち景観デザイン賞でも、協議会賞を受賞しています。(加藤委員)

追浜地区の祭り

夏には、30年以上前から続いている追浜駅前の銀座通り商店街が歩行者天国になってのお祭りがあります。たくさんの人が集まるこのお祭り は、リオのカーニバル、民謡踊り、お神輿・山車の流し、おっぱまソーラン、沖縄エイサー、大道芸など朝から1日楽しむことができます。他にも 10月に「Y・フェスタ追浜」が開催されました。午前中からお昼にかけては駅前で「追浜ハロウィン」、お昼から夕方は海側の日産総合グラウント で「秋まつり in 日産」と楽しいイベントがたくさんあります。

今年度は台風のため残念ながら中止となりましたが、夜には「追浜海の花火大会」があります。約 2,500 発の花火が追浜の海から夜空を彩り、 横須賀市の大規模リサイクル施設「アイクル」周辺で観覧することができます。

個性のある都市的な景観の海辺の環境をもつ追浜のイベントに参加されてみてはいかがでしょうか?



(鈴木(玲)委員)

長浦地区

長浦港の歴史と工場夜景

今回のテーマである追浜周辺から少し距離は離れますが、同じ横須賀の北側である田 浦・長浦地区は工場や倉庫、自衛隊施設などの多いエリアとなっています。その中にある 長浦港からは、湾を取り囲み追浜方面まで続く工場風景が、夜に訪れると煌びやかな工場 夜景として楽しめます。

長浦港は、明治から太平洋戦争終戦(昭和20年)まで軍港として使用されてきました。 終戦当初は横須賀本港とともにアメリカ進駐軍に接収されていましたが、昭和21年4 月、この地区の接収が一部解除されるに及んで商港へ転換。戦災によって各港が被害を受 け、臨港倉庫の不足の中、国は膨大な元海軍倉庫を持つ長浦港の存在を高く評価しまし た。こうして、穀物のほか塩・肥料を含む「緊急食糧受入港」として使用され、日本の食糧危 機の打開に大きな役割を果たしました。

その後、民間会社によって輸出入の仕事がはじめられ た長浦港は、いち早く南洋捕鯨基地となり、昭和23年に 外国貿易港として指定されました。そして、昭和 26 年に は大型船の接岸が可能な岸壁が建設され、大型埠頭が 昭和41年に完成しました。後に捕鯨の禁止に伴い、自 動車輸出に力を入れるようになっていきました。

現在の長浦港は米などの輸入と砂利、砂、石材などの 作業船の基地となっていて、一部は海上自衛隊に使用さ れています。

筆者も車の運転免許を取得したての時はドライブで 長浦港の夜景を見に行きました。

(岩﨑委員)





ベイスターズ練習場 **JAMSTEC** 追浜駅·駅前商店街 東京湾第三海堡遺構 京急田浦駅 吾妻島(箱崎町) 長浦港

■令和元年度よこすか都市景観協議会会員

□正会員 《9団体》(一社)神奈川県建築士会横須賀支部/(一社)神奈川県建築士事務所協会横須賀支部/ミー ズ設計連合協同組合/(公社)神奈川県宅地建物取引業協会横須賀三浦支部/(公社)全日本不動産協会神奈川県 本部横須賀支部/横須賀建設業関連団体協議会【(一社)横須賀建設業協会/横須賀建工同志会協同組合/(一社) 横須賀三浦建設協会/横須賀電気工事協同組合/横須賀管工事協同組合/横須賀緑化造園協同組合/横須賀三浦 塗装工業協同組合/横須賀内装事業協同組合/測新会】/横須賀商工会議所/(公社)横須賀青年会議所/横須賀市 □オブザーバー会員 《3団体》神奈川県横須賀土木事務所/東京ガス㈱横浜支店/東京電力パワーグリッド㈱



よこすか都市景観協議会

発行:よこすか景観ニュース・HP編集委員会 委員長:鈴木 玲成 委員:加藤 雄治、岩﨑 進、秋山 英幸、中本 剛央、鈴木 奈津子、小杉 玲央